

先ナラムニトヲ藤ノ要望レツ、アル模様ナルニ為解決ノ曙光

寄宿舍の皆殺し

寄宿舍の店上は工場を破壊し従業員一団の生活を安定せしむるを企す  
一 会社の方針に悖り規則を破る人は断然処分する外はありせん  
二 会社は従業員中の日数に對しては債権を拂へせん  
三 会社は従業員中の日数に對しては債権を拂へせん  
四 会社は従業員中の日数に對しては債権を拂へせん  
五 会社は従業員中の日数に對しては債権を拂へせん  
六 工場の一部運転を止めました。通知あり次方出勤出来る様準備して居る下之い  
昭和五年十月十三日 東洋スクリン株式会社 産工場

昨日より日形を以て会社は一部運転付したと云ふは洋之久社長委員組合が出来たとの種々の蓋宣  
傳と各職団切崩しに牽連してある事實は会社も最後の処分だ。会社も一部運転付したと云ふは蓋宣  
の裏切行司の拾得の日に成功するものと云ふを造つてあるか。然るに彼等が思惑するや今も  
は手を揃へて洋之久社長委員組合の下に集れんと書つてある。番地の存し人数を減らすの組合の旗  
の下に集められるか。会社の最後の元おきだ。一とフンバリだ。しつかりやらう！  
一 寄宿舍に付した店上は八百に付て居るが！  
二 日食供給洋之久社長委員組合、結集の方、切崩しを企てるが！  
三 寄宿舍は見付たが、天候せし、工場一部運転付したら丁午マツ也！  
拾月十四日 日食供給労働組合 洋之久社長委員本部